



お楽しみだより

令和7年10月6日(月) NO. 3

「悟真寺幼稚園参観と語る会」報告

7月23日(水)、悟真寺幼稚園を会場に、「園参観と語る会」が開催されました。園庭で活発に遊びを楽しみ、先生や友達と関わりながら活動をすすめる子どもたちの姿が見られました。子どもたちの興味を引き出す声かけや活動、環境の整え方など、とても勉強になりました。園参観と語る会に参加された方の声を紹介します。

園参観



参加者の声



- ・朝の挨拶や毎日の決まった習慣がきちんと身についていると感じました。集中して活動に取り組む、座り方や聞く姿勢の良さには驚かされました。掲示の中にしつけの年間計画がありました。年間で見通しをもつこと、園と家庭で同じ方向を見ることの大切さを学びました。
- ・「たいいくのはげみ」「もっきんのおけいこ」などの掲示(目標)の見える化が良かったです。掲示の中にシールを貼る場所があり、運動でできるようになったことや音楽でがんばっていることがわかるようになっていました。子どもたちのやる気を向上させるために真似してみたいと感じました。
- ・一人一人の月齢や苦手なことについて把握したうえで、それぞれの子どもに寄り添いながら支援を行ったり、声をかけたりする姿が見られ、どの子も安心して活動を楽しんでいました。取り組みに時間がかかる子をじっと待つ姿が見られ、先生方が丁寧に子どもと関わる姿が印象的でした。細かな支援があるからこそ、子どもたちが自信をもって活動できるのだと感じました。
- ・設定保育の内容がしっかり決められていて、子どもたちも正しい規律の中で生活していると感じました。他園の方針や遊びの姿、環境などを知るよい機会となりました。
- ・園の保育の仕方や方針の違いを肌で感じることができました。互いの園の情報を交換をしていく横のつながりは大切だと感じました。



語る会



テーマ

幼保こども園と小学校との
なめらかな接続のために大切にしたいこと

幼保こども園



- ・小学校へ移行する際のギャップがとても大きく、子どもたちの中で不安につながっていると聞き、幼保こども園でさまざまな経験をしていくことが大切だと感じた。苦手なことでもやったことがあるという経験が自信につながっていくということを知ることができた。**子どもたちがさまざまな経験を積める活動を取り入れていきたい**と思う。
- ・小学校には決められたカリキュラムがあるので経験により差がある子どもたちをどう指導していくかご苦労されていると感じた。そのような差も含めて子どもたちについて**もっと情報交換できる場を作りたい**。接続期だけでなく、もっと継続して子どもたちの育ちを共に見ていきたいと感じた。
- ・主体性、自主性を取り入れるようになり、試行錯誤しながら取り組んでいる。主体性を大切にしつつ、小学校への接続についても考えていかなければならないと思った。小学校の先生がどう思っているか、何に困っているのか、今まで憶測でしかわからないことだったので実際に話を聞けてよかった。ちょっとした**認識の違いを合わせていくことが大切**だと思った。

小学校



- ・幼保こども園では、体験や経験をたくさん積ませてくださっていることがわかった。勉強は小学生になってからでも追いつけるが、生活の中での体験や経験値はすぐに追いつけるものではないので、ありがたい。園で経験してきたことが小学校に生かされていると感じた。**遊びから勉強への移行を楽しくできるように工夫していく**必要がある。
- ・どの園も、子どもたちの思いを大切にしていることがわかった。そのことが、子どもたちが意欲的に取り組むことにつながっていると感じた。また、主体性・自主性を重んじる保育、教育へ変わっていることがわかった。小学校入学後も**継続していかなければいけない**と思った。
- ・幼保こども園によって方針がさまざまであることがわかった。それぞれの**園の方針を知った上で、子どもたちと関わるのが大事**だと感じた。
- ・幼保小ともに、子どもたちのためにどうしたらよいか真剣に考えていることを実感した。**お互いの教育活動の実態に触れる機会を多くの方が経験できるとよい**と思う。

幼保小の互いの思いや抱えている問題などを直接話してみることで、子どもたちにとってよい保育・教育環境について考えることができました。

～近隣の園と小学校で、遠慮せず声を掛け合って交流を始めていきませんか～